

経皮的内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術(FED-IL)(全麻)を説明医師

受けられる

説明看護師(外来)  
看護師(病棟)  
様へ

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日		手術当日	術後 1 日目
目標	体調を整えて手術を受けることができる		歩行できる 手術後の苦痛が最小限である コルセットの着脱が正しく行える	
検査	必要な検査は終了しています		 血液検査があります	
食事	手術前日の 21 時以降は 飲食できません		 絶食となります	
	朝食は 自宅で	 	   	
手術・処置	 体温・脈拍・血圧・ 酸素飽和度を測定します コルセットの採型 <input type="checkbox"/> 外来で済み <input type="checkbox"/> 作成中のものを使用 <input type="checkbox"/> 入院後の作成 腰痛アンケートに答えて ください  手術部位のマーキングを します → リストバンドを装着します (退院日まで装着します)		   手術着に着替えをして 手術室へ行きます 	
			 診察後、退院となります 退院時にリストバンドを 外します	
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡しください		 手術後、翌朝まで 点滴が 1 本あります  点滴終了後にチューブを 抜きます	
	 鎮痛剤の内服が 始まります			
行動	 シャワー浴して いただきます		 ベッド上で安静に してください  手術後、尿管が入って います 手術後、コルセットを装着し て体位変換ができます	
			尿管を抜きます  体を拭いて着替えをします (タオルを 2 枚ご用意くださ い) コルセットを着用し、 歩行できます	
説明	 医師より説明 ・手術について		 医師より説明 (ご家族に) ・手術結果について	
	 麻酔医より説明 ・麻酔について			
	 看護師より説明 ・入院生活について			
	 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・内服薬について			
		 看護師より説明 ・退院後の療養生活 について  次回外来受診日 【 月 日】		

\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

\* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

10-M52-6

2023.5.23 版

京都第一赤十字病院

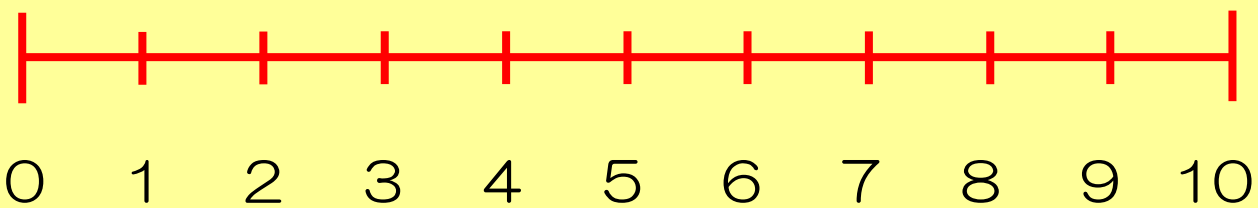
## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合  
今の痛みはどのあたりですか



痛みがない

中等度の痛み

最大の痛み

APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。



